



3



6



5



4

3 定期刊物や臨時増刊の別冊等、豊富な発行実績のある自社出版物。4 『S-style』『Kappo』の編集長はいずれも女性。柔軟でしなやかなマネジメント力、豊かな実績に裏付けされた発想力が媒体に息づく。5 「読者の皆さんや企業・自治体のお客様など、地域の皆様に支えられて今の『プレスアート』があります」と話す今野勝彦代表取締役社長。6 限られた勤務時間を効率的に使うため、打合せは長時間にならないようスタンディングで行うことも多い。



一見華やかな編集職だが、膨大な情報の精査や書き上げた原稿の校正等、地道な業務も重要だ。

file29

株式会社プレスアート

メディア出版事業 / セールスポモーション事業 / コミュニティ放送事業

次代を見据えたビビッドな情報で  
宮城のマスメディアを牽引する

会社情報

- 設立 1972年5月
- 代表 今野勝彦
- 資本金 7,000万円
- 従業員数 32人(男18人/女14人)  
※株式会社仙台シティアフェム含む

〒984-8516  
仙台市若林区土樋103  
TEL/022-266-0911  
FAX/022-266-0913  
<https://www.pressart.co.jp/>

求人情報

- 初任給 205,000円～
- 福利厚生 健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険、従業員持株会、慶弔見舞金制度、保養施設、社内懇親会(ビアパーティ、ボウリング大会、社員旅行)など
- 休日休暇 週休2日制(土・日曜) ※祝日がある週は土曜出勤、祝日、夏期休暇、年末年始休業、年次有給休暇(初年度10日間)、慶弔休暇、産前産後休業、育児・介護休業など
- 職種 営業職、編集職(編集・制作・ライター)
- インターンシップ受け入れ/あり(要相談) ■大学生アルバイト受け入れ/あり
- 採用担当者連絡先/TEL022-714-8311(株式会社ユーメディア内)  
✉saiyo@u-media.jp

CORPORATE RESEARCH

- 会社案内請求
- 自社説明会
- 会社見学

採用ページはコチラから



マイナビ リクナビ



2



1

1 『プレスアート』では、自社以外のあらゆるメディアとの連動が可能。「お客様にとって最良の課題解決策とは何か」を突き詰めて熟慮し、オンリーワンの施策を企画・実施することができます。2 セールスポモーション事業の制作事例の一部。自社媒体とコラボした自治体や企業のガイドブック、イベントの印刷制作物等、さまざまな実績がある。



## 先輩インタビュー 会社に入社して、一番やりがいを感じたことは？

### カタチとなり残る仕事 営業は人と人をつなぐ窓口です

プレスアートの営業職の一番のやりがいは、自社が誇る媒体広告を通じて、様々な提案ができることだと思います。クライアントに偏りがなく、飲食店をはじめ様々な職業の方とお仕事ができるのも魅力の一つ。本誌を見ていただいた方はすでにお気づきかと思いますが、本当に多くの職種が掲載されています。そして、その多くはS-styleやKappoではあまり見ない顔ぶればかり。私は入社してから約半年間は、この「みやぎで働く！」の営業を中心に動いてきました。電話を掛けることや、一人で営業に行くのも慣れるまでは何度も心が折れそうになりましたが、これまでやってきたことが実って新規営業は社内1位になりました。この結果を弾みに、さらにはがんばっていききたいと思います！



会社に行くのが  
楽しいです



profile  
【名前】近 光流 【在籍年数】8ヵ月  
【配属】営業局マーケティング部

### S-styleを書店で見つけるたびに、 周りに自慢しちゃいます(笑)

私が仕事のやりがいを感じる瞬間は、「S-styleの感想を聞く」時です。S-style編集部では、取材撮影や原稿作成はもちろん、書店への雑誌の配送やプロモーションの企画立案まで、すべて自分たちで行っています。だから雑誌が完成した時はとってもうれしい！完成した雑誌が書店に並んでいる光景をみると達成感を感じます。また、ありがたいことに友人や家族が「今月号すごく読み応えあったよ！」「S-styleに載っていたあのお店に行ってみよう」などS-styleの感想を伝えてくれるんです。この瞬間に「がんばってきてよかった」「今も素敵な雑誌を作ることができた」とやりがいを感じます。最近では、「もっと感想を聞きたい！」と思い、書店でS-styleを見つけるたびに友だちに見せびらかして感想を求めています(笑)。



毎日が  
ワクワクです！



profile  
【名前】高橋有沙 【在籍年数】8ヵ月  
【配属】編集部S-style編集部

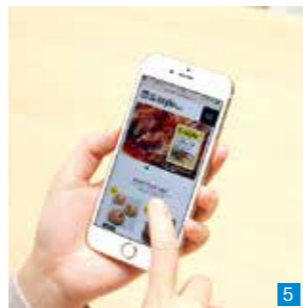
### 50期プロジェクト進行中 良好な職場環境を目指す

2020年に50期を迎える同社では「50期プロジェクト」を推進。出版事業とセールスプロモーション事業を礎に仙台・宮城でさらなる存在感に満ちた企業を目指す方針だ。

また、若手、女性問わず働きやすい環境となるよう、新入社員はOJTトレーナーである先輩社員が業務を具体的に指導。社内環境改善を推進する3つの委員会も活動している。現在、「せんだいタウン

情報S-style』『Kappo仙台闊歩』とも女性が編集長を務めるなど、女性の活躍が目覚ましいほか、育児中でも時短勤務で働ける両立支援制度を設けている。

さらに、パースデーホリデーや社内コミュニケーションを促進するパーティの実施、社員イベントへの補助金支給も行っている。「自身の力を発揮し、さまざまな部署で活躍してほしいと願っています」と今野社長は笑顔で呼びかけている。



5 『日刊せんだいタウン情報S-style WEB』では、イベントやキャンペーンの情報をオンタイムで配信。メディアを使い分けながら、効果的な情報発信を行っている。6 『ラジオ3』のスタッフは企画・編成を行うほか、自ら番組を持ちマイクの前に立つこともある。

7 「2019年度メディア説明会」を開催。在仙の広告代理店との関係を強固にし、さらなる飛躍を目指す。



### 3つの力が結集し、 新鮮な情報を伝える

1975年、全国2例目のタウン誌『月刊せんだいタウン情報(現・せんだいタウン情報S-style)』の創刊以来、40年以上にわたり地域に密着した旬の情報を伝えている『株式会社プレスアート』。同社では媒体の発行に携わっていることで醸成された「ブランド力」。ブラッシュアップを続けている「編集力」。顧客のニーズに柔軟に 대응する「対応力」という3つの力を合わせた事業を推進。グループ企業のコミュニケーションエフエム『ラジオ3』を運営する『株式会社仙台シティエフエム』、印刷ほか多様なメディアでプロモーションを展開する『株式会社ユーメディア』とのメディアミックスで成果の最大化を図っている。「お金を出してでも欲しいと思ってもらえる情報でなければ、私たちの存在価値はないと考えています。地元にいるからこそ得られるリアルな情報、地元の人々が驚くような新鮮な情報を発信していることが弊社の強みですね」と今野勝彦社長は語る。

### 出版、セールスプロモーションが事業の両輪

メディア出版事業では仙台・宮城でリーチ数NO.1を目指す月刊タウン情報誌『せんだいタウン情報S-style』、大人のためのプレミアムマガジン『Kappo仙台闊歩』という定期刊行物のほか、温泉やグルメなどにカテゴライズされた臨時増刊を発行。各媒体に紐づくWebサイトやSNSを活用したタイムリーな情報も発信している。セールスプロモーション事業では、自社発行メディアはもちろん、TV、ラジオなどあらゆるメディアを駆使した連動PRやイベントなどを提案。それらを統合した総合プロモーションの企画立案や制作、運営により、お客さまの課題解決を実現。地域をあげての大規模イベントの総合プロモーション、民間企業のプロモーション、自社媒体クレジット入りのガイドブック制作などを担っている。

また、『ラジオ3』では、定期刊行物と連携した情報を中心にベガルタ応援実況中継、災害時の緊急放送などを伝えている。

## 卓抜したチームワークでニーズに応える情報を発信



4 期末に開催される「プレスアート・ラジオ3アワード」では、一年間の功績を社員同士で称え合う。



1 顧客のニーズをつかみ、二人三脚で解決策を導く営業職。顧客との信頼関係の中に仕事の喜びが感じられる。2 頭の中にあるイメージをカタチにする過程は、制作の中でも楽しくかつ難しい、やりがいのある業務だ。3 編集スタッフは企画・編集はもちろん、取材も撮影もこなす。どのスキルも入社後学べるので安心だ。